

主 日 礼 拜

③夜7時～

③石井師

③石井師

聖歌 429 番 & 「Believe in God」

①コリント人への第一の手紙 10章6～13節

②ヨハネによる福音書10章1～6節

青年会

①「逃げ道・脱出・解決の道」 大川従道牧師

②「わたしは良い羊飼いです」石井 潤牧師

聖歌459番「きよいふみは教える」

「献金当番：青木姉・渡辺姉」

お知らせ

【司会者】

贊美

「見つめ続けます」

礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします！

《今週のお知らせ》

1. 本日午後1時～、ヤングチャペルと聖書の学び会がおこなわれます。
2. 今週の祈り会：①火曜朝6時～、早天祈祷会。②木曜午前10時半～、③夜7時半～、大川従道牧師（大和祈祷会）④土曜夜8時～、準備祈祷会。
3. 金曜夜7時～、Youth Club Up(防災センター2F)が行われます。無料。
4. 来週日曜礼拝では、聖餐式（大切に！）。午後は執事会を行います。

9/11(月):長野家庭集会 17(日):「敬老祝福礼拝&祝賀会」

24(日)：聖歌隊 28(木)：WOGA 集会

一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [9/3~/10]

[illegible]

「わたしは良い羊飼い」

～目を覚ましていなさい！～

「目を覚ましていなさい。わたしがあなたがたに話していることは、すべての人に言っているのです。」
マルコによる福音書13章37節〔現代訳〕

火曜早朝6時、早天祈禱会が始まるとすぐに、 아이폰が緊急ニュースをキャッチしました。北朝鮮からのミサイルが発射されたという内容でした。すかさず、皆で心を合わせて祈りを捧げました。韓国では38度線を境に今でも朝鮮戦争は継続しているという意識がありますが、ミサイルが簡単に飛んでくる時代にあつて、日本もまた、韓国と同じように戦闘状態にあると言わざるを得ません。しかし、島国である日本はそんな状況にありながら、平和ボケしていて、今ある生活が揺るがないもののように感じています。ニュースや緊急速報があつても、それがどこか他の国のことのように感じているのではないのでしょうか。

たとえ、第三次世界大戦が起つたとしても、昔のような戦い方をするわけではないでしょう。もしかしたら、一瞬で世界は崩壊してしまうかもしれません。もしかするともうすでに世界は崩壊しかかっているのかもしれません。そんな現代にあつて、将来の希望はどこにあるのでしょうか？「『あなたの将来には希望がある』と主が言われる。」という御言葉が今年の御言葉ですが、それを打ち消すかのような出来事が次々に起こっています。それでも、この御言葉に信頼することができるか。「希望がある」とおっしゃっている主ご自身に信頼することができるのか。その私たちの信仰が問われているように思います。

主は、「わたしは良い羊飼い（リーダー）です。なぜなら、わたしは羊（私たち）のために命を捨てます。」とおっしゃられて、私たちのために十字架で死んで、復活されて、希望をお与えになりました。私たちの希望はこの世だけにあるのではなく、永遠の世界に向つても持っているのです。そのことは決して忘れてはならないことです。この世は、「永遠の世界なんて何の価値もない」と勘違いして、永遠の希望を求めることを無視しているように見えます。

日々戦いの真ん中であつた戦士でもあつた信仰者ダビデは、その戦闘状態の真ん中で、常に主にある平安を持っていました。（詩篇23篇）

ダビデはかつて、敵に自分の家族や部下の家族を奪われて、その部下たちにも殺されようとしていたとき、彼は完全に孤独で、極限状態に陥り、決して立ち上がることができないような状況になった時にも主を信頼しました。

「ダビデは苦境に立たされた。配下の者たちが、妻子のことで悲しむ余り、ダビデを石で打ち殺そうとする気配さえ起ってきたからである。けれども、ダビデは主である神を仰いで、立ち上がった。」サムエル記上30章6節〔現代訳〕

どんな状況でも立ち直ることができる信仰を私たちは主によって持っているのです！